

ー麻のある暮らしー ハリのある、しなやかで柔らかい肌ざわり



麻は熱伝導性が高い天然素材です。そのため熱がこもりにくく、汗の吸収が抜群です。そのため、蒸し暑い日本の夏に最適な素材として古来より使われてきました。吸湿発散性に優れており、早く乾くので細やかにお洗濯できる最高の素材です。洗いたての麻のシワ感はどこか優しい印象を受けます。シワはちょっとという方はお洗濯後の半乾きの状態でアイロンで伸ばして頂くと良いかもしれません。

麻には多くの種類があることをご存知ですか？
主に日本で扱われている2種類をご紹介します。

○苧麻 (ちよま・ラミー)

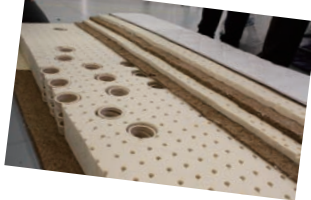
古来から日本で使われており、シャリ感が強く「近江ちぢみ」や「小千谷ちぢみ」など独特のしぼを作る仕上げにより、熱のこもりを抑え汗の吸湿発散を助けています。夏向けの素材です。

○亜麻 (あま・リネン)

ヨーロッパで好まれ、使われてきました。苧麻に比べると柔らかく、さらっとした風合いがあります。このために、夏だけでなく年中使うという方も少なくありません。ベッドリネンという言葉があるように、ヨーロッパの王侯貴族に愛されてきました。



まゆいのヨーロッパ訪問記 ~VitalWood~



VitalWood オーガニックナイト2を作っているBioTextima社の工場に行ってきました。BioTextima社の工場はオーストリアとの国境に近いハンガリーの小さな町にあります。

さわだで取り扱っているオーガニックナイト2は、天然のラテックスフォームを馬毛で挟み、金属のコイルを使わずに木製のコイルを使用したマットレスです。日本人好みのしっかりとしたマットレスに仕上がっています。

金属コイルを使用すると電磁波や地磁気の影響を受けるという実験結果と、自然な素材を使ったもので眠りたいというニーズから、BioTextima社は6~7年かけて木製のコイルを開発しました。木製のコイルと聞くと耐久性に不安が残りますが、10年の使用を模擬したテストで変形率は1%以下で、子供のおもちゃと同じ耐久性のテストを受けて合格しています。また、日本や東南アジアの湿度の高い地域に出荷する製品には、自然素材で作られたワックスを木製のコイルに塗って耐久性を維持しています。

オーガニックナイト2の表面はキルティングで仕上げられるのではなく、和布団のようなどじで仕上げられています。厚いマットレスですので、とじ用の長い針を使って2人掛かりでとじの作業を行われていました。ひとつひとつのマットレスを丁寧に、まさに「手作り」で作られています。

ぜひ一度、店頭でお試ください。

(沢田麻由里)

羽毛布団と一緒に、眠りもお仕立て直しします

- 以前より羽毛のパワーが弱くなったような気がする・・・
- 羽毛の偏りが出てきてかさが減ったような気がする・・・
- カバーは替えているが側生地の汚れが気になる・・・

そう感じたら、羽毛布団の「リフォーム」時です。羽毛本来の力を引き出し、新品同様の布団に作り変えませんか？季節の変わり目の今、押入れにしまう前に羽毛布団をチェックしてみてください。



さわだのこだわりのリフォーム

- ①羽毛を直接洗いでクリーンに
- ②5段階での徹底したホコリ取り
- ③オゾンで消臭殺菌加工

体質や寝室の状況に合わせて、生地やキルティング、羽毛の量をご提案します。

羽毛リフォームの価格は

直洗い・5段階除塵・新品側・標準足し羽毛込で
シングル 23,800円(税込)～

側のキルティングや生地のグレード、足し羽毛の質と量によって変わりますので詳しくはお問い合わせください。

寝具の正しいお手入れ方法

○ふとんを干す



ふとんは干さないと湿気を発散しないため、ジメジメしてしまいます。また汗によって繊維がもろくなり、ふとんの寿命を減らしてしまいます。いい状態で長く使うために、おふとんはしっかりと干しましょう。

・カバーにいれたまま干す・日陰で干す

日差しが強い日におふとんをそのまま干すと、側生地が傷んでしまい寿命が短くなります。また、花粉の季節や車の排気ガスが届く場所では、ふとんが吸い込んでしまうのを避けられます。

・夏場は30分冬場は1時間、干し過ぎ注意

日差しが強い日に干し過ぎると脂分が抜けてパサパサになり、ふとんの寿命を減らしてしまいます。

・ふとんを叩かない

ふとんを叩くときに出る埃やゴミの多くは、叩いたときに壊れた繊維です。叩けば叩くほど側生地も中わたも壊れていきます。ですので軽くはたく程度にし、掃除機で吸うことをおすすめします。

○ふとんを洗う

カバーを洗っていても、ふとんを定期的に干していても少しずつ汚れは染み付いていきます。衛生上もよくないですし、ふとんの寿命を早めることにもなります。汗かきの方は3年、普通の方でも5年を目安に丸洗いをおすすめします。

・丸洗いとウォッシュャブル

ふとんに書かれている「丸洗い対応」はクリーニングによる水洗い可、「ウォッシュャブル対応」は家庭洗い可ということです。ですが、冬用の大きなふとんを家庭で洗うことは難しいので、ウォッシュャブル対応でもクリーニングに出すことをおすすめします。

○ふとんを片付ける

おふとんはふとん袋に入れて保管しましょう。

圧縮袋で圧縮しての保管はおすすめしません。羽毛が劣化してしまいます。また、保管時に上に重いものを載せる等もNGです。



お問い合わせは 通話料無料0120-17-0057 まで